



東京都福祉サービス第三者評価

評価結果報告書

パレット保育園初台

平成31年2月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター

◆ 第三者評価実施概要 ◆

福祉サービス種別

東京都認証保育所

事業所名

株式会社理究
パレット保育園初台

事業所住所

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-31-4 キャッスル新宿 2F

評価実施期間

平成 30 年 6 月 12 日～平成 31 年 1 月 24 日

評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

評価者

修了者No.
H1201050・H0401031・H0701033・H0801018

評価手法

【利用者調査／利用者家族アンケート方式】

- ・全園児の保護者（42 家族）に対して、保育園サービス利用者調査として調査票を園から配布し、記入後の回答用紙を保護者より評価機関に直接返送してもらった。

【事業評価】

- ・経営層合議による自己評価の実施
- ・職員個別回答による自己評価の実施（職員個々で記入後、評価機関に直接返送してもらった）
- ・訪問調査／利用者調査および自己評価の集計・分析に関する説明
経営層へのヒアリングおよび標準項目の確認
書類調査

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)「大きな家族」 2)「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育 3)「自立と自尊と自律」 4)五領域を縦断的にとらえる 5)「明楽元素+賢」</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割 パレット保育園の理念・方針を理解し、協力し、努力をしてくれる人</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感) 明楽元素+賢のモットーを実行し、常に園児・保護者の最善の利益を考えること</p>

調査対象	パレット保育園初台に在籍している子ども(総数45名)の保護者全世帯(42世帯)を対象として実施しました。		
調査方法	アンケート方式により実施しました。保育園職員より全保護者に保護者アンケート調査票を配布してもらい、回答者が直接評価機関に郵送してもらう方法で回収しました。		
利用者総数	45		
利用者家族総数(世帯)	42		
共通評価項目による調査対象者数	42		
共通評価項目による調査の有効回答者数	26		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	61.9		

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は、「大変満足」が76.9%(20名)、「満足」が23.1%(6名)で回答した保護者全員が満足という高い評価が得られています。設問では、「1.園での活動」、「2.子どもの興味や関心」、「9.園内の整理整頓」、「11.ケガや病気などの対応」、「13.子どもの気持ちを大切にされた対応」で「はい」という肯定的な回答が100%という満足度です。自由意見にも、「子育ての不安や相談にも親身になって聞いてくれます」、「日々の出来事を詳しく話してくれて、相談しやすい雰囲気があります」、「違うクラスの先生も子どもに対して愛情をもって接して下さることが伝わってきます」、「何より、子どもが保育園に行くのが楽しいようです」等、職員の対応や相談のしやすさに満足しているという意見が挙がっています。また、「子どものやる気を引き出す保育をしていただけて感謝しています」、「行事や日常の遊びを工夫されていて満足しています」等、保育に関して満足しているという意見もありました。一方で、「17.外部の相談窓口」について、否定的なコメントは寄せられていませんでしたが、「はい」と回答した方が42.3%(11名)でした。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	26	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%です。自由記述には、「広く安全な床の上で遊べるので、活発に動いていると思います」というコメントが寄せられています。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	26	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%です。自由記述には、「パレット学習タイムで食育を0歳児にして行ったださることに驚いたと同時にありがたいと思いました」というコメントが寄せられています。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	25	1	0	0
回答割合は、「はい」が96.2%、「どちらともいえない」が3.8%です。自由記述には、「子どもの離乳食の進み具合に応じて調理して下さること、食材も多く季節に応じた食物を提供して下さることが、とてもありがたく思いました」というコメントのほか、「おやつ、夕飯の献立がわからない」というコメントも寄せられています。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	25	0	1	0
回答割合は、「はい」が96.2%、「いいえ」が3.8%です。自由記述には、「戸外活動はもっとあってもいいのではないか」、「園庭がないのが残念です」というコメントのほか、「できる範囲でやっていただいていると思います」、「散歩でいろいろな場所に行っているの、園庭がないことは気にならない」というコメントも寄せられています。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	18	2	0	6
回答割合は、「はい」が69.2%、「いいえ」が7.7%、「非該当」と回答した方が23.1%です。自由記述には、「土曜日の利用を2日前までに柔軟と思う」というコメントのほか、「遅くなる時だけでなく、早くなるときも連絡をしないといけないのが頻雑です」というコメントも寄せられています。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	24	2	0	0
回答割合は、「はい」が92.3%、「いいえ」が7.7%です。自由記述には、「保育の間の様子が把握できません」というコメントが寄せられています。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	24	1	1	0
回答割合は、「はい」が92.3%、「どちらともいえない」が3.8%、「いいえ」が3.8%です。自由記述には、「行事によっては日中の時間なので参加しにくい時があります」というコメントのほか、「行事の後に、毎回日程や内容についてのアンケートがあるので良いと思います」というコメントも寄せられています。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	24	1	1	0
回答割合は、「はい」が92.3%、「どちらともいえない」が3.8%、「いいえ」が3.8%です。自由記述には、「コドモンの連絡で、子どもの様子を細かく連絡して下さいます」というコメントのほか、「時間がなかなか合わない」というコメントも寄せられています。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	26	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%です。自由記述には、「狭いので仕方ないと思います」というコメントが寄せられています。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	25	1	0	0
回答割合は、「はい」が96.2%、「どちらともいえない」が3.8%です。自由記述にはコメントは寄せられていませんでした。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	26	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%です。自由記述にはコメントは寄せられていませんでした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	18	2	0	6
回答割合は、「はい」が69.2%、「どちらともいえない」が7.7%、「非該当」と回答した方が23.1%です。自由記述には、「危害を加えられた場合の報告はあっても、加えた場合の報告はないので、どんな場合でも教えてほしい」、「保育中の様子を把握できないのでどちらともいえません」というコメントは寄せられています。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	26	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%です。自由記述にはコメントは寄せられていませんでした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	23	2	0	1
回答割合は、「はい」が88.5%、「どちらともいえない」が7.7%、「非該当」と回答した方が3.8%です。自由記述には、「まだ、守ってほしいプライバシーを話したことはありませんが、きちんと守ってくれると思います」というコメントが寄せられています。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	25	1	0	0
回答割合は、「はい」が96.2%、「どちらともいえない」が3.8%です。自由記述には、「保育士によりばらつきがあるように思います」というコメントが寄せられています。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	21	1	0	4
回答割合は、「はい」が80.9%、「どちらともいえない」が3.8%、「非該当」と回答した方が15.3%です。自由記述には、「先生方には満足していますが、運営側の対応に不満があります」というコメントが寄せられています。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	11	5	2	8
回答割合は、「はい」が42.3%、「どちらともいえない」が19.2%、「いいえ」が7.7%、「非該当」と回答した方が30.8%です。自由記述には、「説明があったということは思い出せませんが、しおりに分かりやすく記載されています」というコメントが寄せられています。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
	1	リーダーシップと意思決定
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	
	評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
カテゴリ1の講評		
<p>職員にはハンドブック、保護者にはしおりを配布して理念・方針を説明しています</p> <p>園の基本理念は全ての職員が携帯しているハンドブックに記載して研修等で学ぶほか、年度初めの話し合いでは基本理念を踏まえて各クラス目標を決めています。入園希望者には「パレット保育園 ご案内」に掲載して見学時に説明しています。保護者に対しては入園準備会を1、2名単位で開いており、その場で説明します。さらに入園時と進級時に「パレット保育園 しおり」を配布して園の理念や方針を説明し、入園後の懇談会でも改めて説明します。ホームページにも掲載していますが目下、パンフレットの作成を検討しており、その中にも明記する予定です。</p> <p>役職者と現場の意識の違いが生まれないようにコミュニケーションを大切にしています</p> <p>ハンドブックには意思決定のプロセスも明示し、組織図や保育マニュアルなどでも園長やチーフの役割を明記しています。また、園内に理念を掲示し、会議の中や日常の話し合いを通じて保育実践の現状について、現場職員と意見を擦り合わせながら、現在のレベルより少し上を目指すことを基本としています。経験年数の浅い職員も多いことから園長やチーフと現場の職員の意識に乖離が生まれないように、子どものプライバシーなど具体的な場面についてもコミュニケーションを重ねて気づきを促しています。</p> <p>情報システムを導入するなど保護者への情報提供の一層の充実を進めています</p> <p>保護者に対しては、春は個人面談、1月には0、1歳児には懇談会でビデオを使って説明し、2～5歳児には個人面談を実施しています。そして3月末には進級説明会を行いその後懇談会を行っています。こうした機会に園のルールや重要事項について説明をしています。また、運営委員会や法人会議の議事録などは園内に掲示するとともに保護者向けのアプリケーションソフトを使って、全ての保護者に伝えています。</p>		
カテゴリ2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6	
評価項目1		

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

4/5

評価項目1
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点(〇〇●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

事業を取り巻く様々な情報を地域、法人、保護者や職員等を通じて収集しています

地域の認証保育所連絡会では年2回、区長を交えるなどした懇談を行って保育に関する情報を交換しています。また、毎月本部から担当者が来てミーティングを行い園のデータや保育関係の情報の提供を受けています。保護者には行事アンケートや運営委員会を通じて、職員とはスタッフ面談などで意向を把握し、行事日程やシフトの組み立てなどについて意見や要望を踏まえています。これらの事業環境についての情報から課題を抽出して例えば事業報告書などに記載して、次年度計画の目標や課題の立案に反映することが望まれます。

事業報告書を充実し、法人の中期計画を反映してより実践的な事業計画策定が望まれます

園の事業報告書は年度内にどのようなことを行ったのかの事実については書かれていますが、何を課題としてどのレベルまで達成できたのかは必ずしも明確になっていません。課題を抽出し事業報告書を一層の充実したものにし、その課題を受け止めた、実効性のある事業計画書が策定されることが期待されます。課題の抽出や目標設定については園長と本部担当者だけでなく、保育士なども参画させるとさらに良いと思われます。また、法人が策定した中期計画の内容を園の事業計画に反映させていくことも望まれます。

法人の中期計画については着実な実行が見られます

法人では各園から情報を収集し、共通案件を全園で共有し対処する仕組みを作っています。また、福祉事業全体の動向や個別の園の経営状況を把握し、課題を抽出し、課題に対応して中期計画を策定します。中期計画の部分計画である損益計画は「損益モデル」を軸とし、運営計画は第三者評価・自己評価の実施と現場第一主義を推進すること、教務計画ではカリキュラムの独自性によるオンリーワン戦略を掲げるなどしています。法人の担当者や園長との面接や毎月のミーティングなどを行いながら実践しています。

カテゴリー3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる **サブカテゴリ毎の標準項目実施状況** **2/2**

評価項目1
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる **評点(〇〇)**

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ2(3-2)
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている **サブカテゴリ毎の標準項目実施状況** **4/4**

評価項目1
利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている **評点(〇〇)**

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている **評点(〇〇)**

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ3(3-3)
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている **サブカテゴリ毎の標準項目実施状況** **3/5**

評価項目1
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる **評点(〇〇)**

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている **評点(〇●●)**

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ3の講評

使命や倫理、理念などはいつも持ち歩くハンドブックに掲載し読み合わせをしています
園のハンドブックには「スタッフの使命」や「明楽元素+質」「保育スタッフ行動原則ABC」、就業規則の抜粋さらに全国保育士倫理綱領などが掲載されています。このハンドブックは新任研修の資料として学びます。また、4月に行う園の全体研修で読み合わせをし、振り返りをしています。園長は言葉だけで真意を伝えることの難しさを事例を示して職員に伝えて、子どもに接する時の基本姿勢を培っています。職員の法・倫理・規範への周知についての職員アンケートの結果では前回に比べ高い自己評価となっています。

保護者から苦情・要望を受け付ける仕組みはできていますが一層の充実と周知が望まれます

苦情受付の体制については園のしおりに掲載し、見学会や進級説明会で説明しています。また、施設内に苦情受付体制の説明文と意見箱を置いています。しかし、園の開設以来、苦情要望等の受付は1件もありません。園では職員に気軽に意見が言える雰囲気づくりに努めているため口頭でのやりとりで解決しているとのことですが、苦情要望は園の運営サービスの向上にも寄与すると思われます。本年、情報システムを導入しました。こうした新しい仕組みをも活用するなど多様なチャンネルを通じて苦情要望を受け付ける仕組みを充実することが望まれます。

より積極的な地域貢献を進めることを検討しています

園では地域とのつながりを深めるための試みを続けています。ボランティアなどの受け入れも始めています。夏祭りなどの行事や育児相談の案内掲示など外部への発信も始めました。園の見学会を平日と土曜日に行い、年間約200名が来園しています。都心立地の特性から近隣企業の公開空地も散歩コースにしており、こうしたつながりから企業の保有するシアターや図書館、文化施設などの招待を受けてパレエや音楽・楽器に触れる機会、電子機器で遊ぶなど交流があります。こうした交流を深めながら地域貢献の幅を広げてゆくことを検討しています。

カテゴリー4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

3/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(○○○●●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(○○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー4の講評

事業のリスクへの対応について、優先順位をつけた取り組みが期待されます

法人には事故防止対策プロジェクトが設置されており、毎月発行する運営要項にリスク関連の情報が掲載されます。また、危機管理マニュアルや災害掲示板や安否確認サービスを導入しています。事業運営を阻害する恐れのあるリスクを洗い出し対策の優先順位を付けることや事業継続計画の策定が課題となっていますが、本部が蓄積したデータの活用によりリスクを洗い出すことや地震対応のマニュアルを拡張するなどして事業継続計画に対応することが期待されます。

子どもたちの安全確保・予防に向けた取り組みを充実させています

職員が携帯しているハンドブックには年間計画スケジュールがあり、避難訓練や子どもたちや職員の健康診断日など、安全確保・予防のための取り組みがスケジュール化され、実行されています。感染症予防マニュアルでは子どもを病院に連れていくときの判断基準等も記載しています。法人内の全ての園で発生した事故の報告書を各園で共有する仕組みがあり、園では事故報告書を回覧して再発防止を進めてきましたが、今年度は、ヒヤリハット報告書の書式を策定しました。これにより事故を未然に防ぐための仕組みが進みました。

情報システムを導入して活用を進めた成果が出ています

園では職員や家族の負担軽減と支援サービスの質の向上を目指して情報システムを導入しました。保護者のタブレットに向けて、連絡帳、園だより、クラスだより、献立表、お知らせ、行事後アンケート等を配信しています。職員は新システムにおいて、月案、日誌、身体測定結果や食事・検温・排便・午睡などの生活チェックシステムを使用しています。現在、検食日誌や給食日誌は手書きに戻すなど、業務内容による仕訳も進めています。業務の時間が節減ができたことを受けて「振り返りタイム」を設けるなど、職員の資質やチームワークの向上を進めています。

カテゴリ-5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

10/12

評価項目1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(●●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

3/3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目
----	------

<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

様々な方法で人材の確保を進め定着が進んでいます

園の理念である「大きな家族」の一員となる人材の確保を目指して採用に向けた多様なアプローチをしています。ホームページでの募集案内を充実し、行政や企業の就職相談会に参加したり、現任の職員に向けては職員紹介キャンペーンを行っています。また新任の職員を同伴した学校訪問を行うなどしています。借り上げ寮を確保するなど福利厚生を充実するなど受け入れ態勢の改善にも力を入れています。応募者には園長が面談して採用の可否を決定しています。

事業所が求める職務内容に応じたキャリアパス制度作りの取り組みが期待されます

園では職員が研修に参加することを積極的に支援しています。園長は研修課題の提出などについても確認し、アドバイスをしています。スタッフ面談シートや「できたかな表」を使って園長と職員が現状と課題を確認・合意して資質や能力の向上を進めています。保育士試験補助制度や学習プログラムの講師認定試験など保育士のステップアップの仕組みも作りつつあります。こうした基盤の上に、職責・職務内容に応じた長期展望(キャリアパス)を職員に分かりやすく示すことが今後の課題となっています。

積極的に時間短縮を進めるなど職員の処遇改善をすすめて満足度が高まっています

毎年2回、スタッフ面談を行っており、職員の健康やストレス、就業状況を確認しています。小規模園の特性を活かして昼休みには役職や経験年数を超えて、気軽な会話や意見交換のできる関係づくりを進めています。ミーティングノートには本人の元気を記入してもらって全員が状況を共有できるようにしています。シフトを年間で固定して生活リズムに配慮し、フリー職員の配置を厚くするなどの支援体制を取っています。行事の準備の可能な部分は定形化したり、情報システムを活用して業務時間の短縮をすすめて、残業を減らし年間休日を増やしています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

保護者の負担を軽減するとともに保育士の事務作業の時間を短縮しながらサービスの質の向上を実現することを目的に、情報システムの導入を進めました。この間、毎月法人内の園長会議で話し合い、園内研修を開くなどしてアプリケーションソフトの扱いの習熟に努めました。保護者へは、連絡帳や園だより、クラスだより、献立表、お知らせ、行事後アンケート等をタブレットに配信し、玄関ドアの施錠・入退室にはカードシステムで対応しました。ネット上にデータを置くことでアルバムの閲覧や映像の購入も容易にしました。職員は、月案、日誌、身体測定結果等の入力や食事・検温・排便・午睡などの生活チェックについて新システムを使うことにより時間の節約が進みました。現在、検食日誌と給食日誌については手書き方式に戻すなど業務内容による使い分けを進めています。こうした業務改善により「振り返りタイム」の時間を作り出し、保育の質の向上に結び付けることができました。行事の後の保護者アンケートの回答率はほぼ100%になり、前もって連絡帳を確認して引き取りに来るためコミュニケーションの内容が深くなるなどの相乗効果も出ています。

目標の設定と取り組み	<input type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

法人では平成28年度から31年度の3か年の中期計画を策定しICTプロジェクトを推進しています。しかし園の29年度事業計画書及び29年度事業報告書には、情報システムの導入について記載していません。実際にはプロジェクトは既に動き出しており、園も並行して積極的に進めていたことは会議資料などで確認できます。また、平成30年度の事業計画書には、保護者との連携の項に「情報システムによる家庭との日々の連絡」が記載されており、このプロジェクトについて全く記載していないわけではありませんが、情報システムの導入は家庭との日々の連絡にとどまらない法人全体と園と職員、保護者を巻き込んだ、現在も進行中の大きな改革であるとの視点が見られません。今後、このような大きな課題については法人の事業計画を踏まえて、事業報告書には実行したことの成果と課題を明記し、その成果と課題を次年度の事業計画に反映することが望まれます。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

過去3年間で職員が大幅に入れ替わり、保育士の定着とチームワークの再構築が課題となっています。そのため、職員の処遇改善、とりわけ時間短縮を進めて残業を減らし年休の日数を増やすことと職員間のコミュニケーションを充実してスタッフがチームの一員としてやりがいを感じる運営を目指しました。個別業務の見直しを進めて時間を節約し、ベテラン職員をフリーの保育士として2名確保し、年間休日日数を114日から120日に増やすことや土曜出勤に対応できる勤務体制を実現しました。園長とスタッフが一緒に過ごす時間を作ことを心がけました。職員の意欲に応じて内外の研修への参加を積極的に支援しました。その結果、職員間のコミュニケーションも活発になってきました。研修への参加することにより職員の働く意欲の向上も見られています。離職者が減少して派遣社員への依存も少なくなってきました。さらに保護者とのコミュニケーションも深まり、保護者と園が共に子育てをするという理念に近づいた環境が生まれて来ています。今後、さらにフリーの保育士を増やして就労環境の改善を進めることを目指しています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

29年度の事業計画には保育士の定着とチームワークづくりについての記載はありません。また、29年度の事業報告書でも、このような活動についての記載はありません。また、30年度の事業計画にも記載がありません。しかし、フリーの保育士の複数配置や園長も交えた昼食時間などでの活発なコミュニケーション、業務の簡素化などによる残業時間の削減、離職者の減少などの実績は、職員の意見や園の記録から確認はできます。保育士の離職率を低下し職員間のチームワークを高めることは、今後も重要課題であると思われます。このような大きな課題については、事業報告書に例えばベテランのフリー保育士を配置した成果と更なる課題を記載して、その成果・課題を踏まえて次年度の計画に人的体制についての具体的な目標を示すことが望まれます。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学希望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている
	サブカテゴリー1の講評	
	<p>ホームページを毎月更新し、利用希望者等に園の最新情報を提供しています</p> <p>利用希望者等に対し、園のしおりやホームページを用いて、園の情報を提供しています。ホームページには保育理念や保育内容、費用などの必要な情報とともに、リズム遊びや人気献立ランキング等を載せ、イメージしやすいようにしています。ホームページは毎月更新し、最新情報を提供しています。園見学の申し込みをホームページで受け付けることで、見学者全員がホームページを閲覧してから見学に来るようになり、理解が深まりました。また、今年度から渋谷区のホームページに空き情報を掲載し、そこから園のホームページにリンクするようになりました。</p> <p>利用希望者を対象に、年間を通して見学会を実施しています</p> <p>見学会を年間を通して実施し、ホームページから希望の日時を選択してもらっています。見学会は平日と土曜日に月に5回ほど、曜日を変えて実施し、年間約200組の見学者がいます。見学会では、しおりやタブレット、スクリーンを用いて、園長が、保育理念や保育内容、保育料金、認可保育園と認証保育園の違いなどを分かりやすく説明し、法人独自の学習プログラムを映像を用いて体験してもらっています。また、質問の多い内容は「よくある質問Q&A」として冊子にまとめ、配付しています。見学者の情報は「お客様シート」に記載してもらっています。</p> <p>利用が困難な場合等に備え、渋谷区等の関係機関の冊子を置き、情報提供しています</p> <p>現在、入所希望者が多いため、入園者の選考をしていますが、近隣に認可保育園が増えていることや児童数の減少を鑑み、園は情報発信や見学会を積極的におこない、地域に認証保育園についての理解を深めるようにしています。身体に重い障害があるなど園の構造上受け入れが難しい場合には、認証保育園のため個別支援のための加配保育士の配置が少ないこと、入所にあたり選考があることを説明しています。病後児保育等の受け入れ先や渋谷区等の関係機関の冊子等を玄関に置き、情報提供しています。</p>	
	サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している

評価項目2		サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している			○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している			○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている			○非該当
サブカテゴリー2の講評				
<p>入園前準備会で重要事項等について説明し、利用契約書に捺印してもらっています</p> <p>入園決定時には、保護者に必要書類を渡しながら、書類の内容を説明しています。入園前に入園準備会を個別に実施し、重要事項説明書としおり(会員用)を用い、サービス内容や保育料と保育教材などの費用について再度説明し、保護者の質問に答え、納得の上で利用契約書に捺印してもらっています。入園準備会では、提出書類の確認もしています。また、入園後も質問等があれば対応しています。園生活の細かな約束事の再確認やクラスの活動内容の説明、担任の紹介などは、3月末の入園・進級説明会でおこなっています。</p> <p>保護者と密に情報交換し、スムーズに園生活が始められるよう支援しています</p> <p>入園時に個人カルテ、健康カルテに保護者に子どもや家庭の状況、生育歴、既往症について記入してもらい、入園準備会で内容の確認をし、保護者の意向や要望を聞き取っています。アレルギーや離乳食など必要に応じて、園長、担任、栄養士が保護者と面談をしています。子どもがスムーズに園生活を始められるよう、入園開始時には慣らし保育を実施しています。慣らし保育は2週間を目安に、子どもの様子や保護者の状況に合わせて期間を調整しています。保護者とは毎日、タブレット端末を用いて情報交換するとともに、送迎時の会話を密に取っています。</p> <p>転園する子どもや保護者の不安が軽減するよう、声かけやアドバイスをしています</p> <p>見学会で、認証保育園の定員の仕組みについて説明し、3歳以上の定員を超えた場合には転園もあり得ることを保護者に説明しています。毎年夏頃に、全園児に進級希望についてのアンケートを実施し、認可保育園への転園についての保護者の相談にのっています。また、転園後の子どもや保護者の不安の軽減に向けて、声かけして話を聞いたり、アドバイスをしたりしています。卒園や退園の際には、お別れ会をおこない、作品集を贈与し、写真を使用した「思い出帳」を作成しています。卒園生を、行事に招待したり、年賀状を送付したりしています。</p>				
サブカテゴリー3				
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況		12/12
評価項目1		評点(〇〇〇)		
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している				
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している			○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している			○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている			○非該当

評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇)
---	--	-----------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたくうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
---	--	---------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
---	--	---------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ3の講評

子どもと保護者の状況や意向を丁寧に把握し、計画作成に活かしています
 子どもや家庭の状況、入園までの生活状況、保護者の意向、子どもの既往症や健康状態などは、入園時に保護者に個人カルテ、健康カルテに記載してもらっています。入園後の子どもの成長発達の様子は、月ごとに成長発達記録にまとめています。年度初めに全クラス、年度後半に2歳児から5歳児で個人面談を実施するほか、離乳食の段階を進める時に離乳食面談をおこない、保護者の意向を丁寧に把握しています。これらの情報を基に子どもの課題を抽出し、職員間で話し合い、計画の作成、評価、見直しに反映しています。

全体的な計画に基づき、年間指導計画、月案、週案を作成しています
 保育理念を基に保護者や近隣の環境などを反映した園としての全体的な計画を作成し、それを基にクラスごとの養護と教育の各項目を網羅した年間指導計画を作成しています。月案、週案は、子どもの成長の様子についてクラスで話し合って作成し、毎月の園内会議や毎週の園内ミーティングで方向性を共有しています。0、1、2歳児は個別月案も作成しています。月案は毎月、年間指導計画は3か月に1回見直すほか、子どもの様子に変化があった時には、その都度クラス話し合い、見直ししています。保護者に対しては、入園・進級説明会や園便りで伝えていきます。

クラスの「振り返りタイム」で、その日の保育がねらいに沿っているか確認しています
 今年度からアプリケーションソフトを導入した結果、現在、指導計画、日誌、身体計測の結果、生活チェック(食事、排泄、午睡等)、保護者との連絡などを、必要な職員がいつでもタブレット端末で確認できます。週案は日誌を兼ねていて、ねらいに沿って保育が実践されているかを日々確認しています。クラスで「振り返りタイム」をおこない、その日の保育の振り返りと翌日の保育の確認をしています。ICT化により空いた時間を「振り返りタイム」にあてることで、ねらいへの意識が高まり方向性が統一し、子どもが落ち着いてきたなどの効果が出ています。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>個人情報の取り扱いについて保護者に説明し、同意書で意向を確認しています</p> <p>入園準備会や入園・進級説明会で、個人情報の取扱い方法について説明するとともに、保護者に「個人情報の取扱いに関する同意書」を提出してもらっています。園だよりやホームページへの掲載については、同意できる範囲について保護者の意向を、細かく確認しています。日常生活において、子どもの羞恥心に配慮するように心がけています。1階は着替えやトイレの時に窓のスクリーンをおろす、オムツ替えの時には衝立を用いて他の子どもから見えない様にする、5歳児は個室トイレを用いるようにするなど、子どものプライバシーへの配慮をしています。</p> <p>各家庭の保育に対する考え方を尊重し、家庭と連携し保育を進めています</p> <p>ハンドブックに、倫理綱領や行動原則などを記載し、全職員に配付しています。園内研修で、言葉遣いや禁止用語について取り上げ、周知徹底を図っています。日誌には、子どもへの関わりについてのチェック項目があり、「振り返りタイム」で自己評価しています。入園時には、各家庭の保育に対する考え方などを聞き取り、生活習慣や価値観の違いに個別に対応しています。行事への参加も各家庭の考え方を尊重し、参加を強要することはありません。また、トイレトレーニングなども家庭と連携し、園が主導することはしないようにしています。</p> <p>「児童虐待マニュアル」を整備し、園内研修で職員に周知しています</p> <p>園では、「児童虐待マニュアル」を整備し、園内研修で職員に周知しています。また、渋谷区の研修に職員が参加して報告研修会を実施し、職員間で共有しています。虐待が明らかになった場合や疑わしい場合には、すぐに園長に報告し、関係機関と連携する体制ができています。朝の受け入れ時には子どもの様子を観察し、気になるときには保護者に確認するなどし、園は虐待の防止に努めています。園としては、今の所事例はありませんが、実際に起きた場合に備え、研修会等への参加を継続し、正確な判断ができるようスキルアップを図っています。</p>		
サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2		標準項目	評点(〇〇)
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている			
評価			
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○非該当
サブカテゴリー6の講評			
<p>必要なマニュアルや規程類をまとめたハンドブックを全職員に配付し、周知しています 保育内容や給食、事故防止マニュアル、感染症予防マニュアル、安全管理マニュアルなどの各種マニュアルを整備し、「保育マニュアル」にまとめています。「保育マニュアル」はいつでも確認できるよう事務室に置いています。また、理念や方針、倫理綱領、就業規則などとともに、保育内容や事故防止、非常時の対応などがコンパクトにまとめられて掲載されているハンドブックがあり、職員に配付しいつでも確認できるようにしています。ハンドブックは、園内会議や「振り返りタイム」で読み合わせをしています。</p> <p>定期的にマニュアルの読み合わせをし、サービス水準が確保できるようにしています 法人は、各園からあがった課題や改善点を集約し、保育マニュアルの定期的な見直しに活かしています。園独自のマニュアルについては、園内会議やクラスの「振り返りタイム」で話し合い、排泄や食事、睡眠の手順書などの見直しをしています。また、毎月運営法人本部からメール配信される「運営要項」にはマニュアルの運用事例や事故事例が掲載されていて、毎月の園内会議で読み合わせて共有し、一定のサービス水準が確保できるように取り組んでいます。</p> <p>事故およびヒヤリハットの報告書の様式を工夫し、安全な保育環境作りに活かしています 子どものけがや事故、園内会議やミーティングなどで取り上げて検討しています。今年度、報告書の改定をおこない、「事故の振り返りシート」「ヒヤリハット、軽微なけがシート」として、場所や時間、原因などを特定できる様式にしました。これにより、保育士の動きや配慮、環境設定などで防げる可能性のあるけがを防ぎ、保育士が安心して保育できる環境作りを進めるとともに、保育士の危機管理能力の向上を目指しています。また、職員からの提案はすぐに取り入れていて、給食スタッフからの提案で食育新聞を作成して掲示したなどの事例があります。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		36 / 36	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携を図っている		○非該当
評価項目1の講評			
<p>全職員が子ども一人ひとりの発達の状態を共有して、保育をおこなっています</p> <p>「ひとりひとりを大きな家族の一員として認め、役割を認識させ、愛情をもって育てます」との保育理念に基づいて保育を実践しています。子ども一人ひとりの成長発達の記録はアプリケーションソフトに入力して、クラス間で共有しています。毎日午睡の時間を利用してクラスで振り返りの時間を持って、その日の保育のねらいや子どもの状態等を共有しています。毎月1回土曜日には、全職員が出席する園会議が丸1日掛けて行われ、その中で子ども一人ひとりの状態等についても共有されています。家庭での様子については、主に個人面談で把握しています。</p> <p>異年齢児で構成される幼児クラスでは、おもちゃや絵本を自由に取り出して遊べます</p> <p>幼児クラスは3、4、5歳の異年齢児で構成され、おもちゃや絵本は、子どもたちが自由に取り出して遊べるように配置されています。制作や運動、鍵盤ハーモニカの使用等、小学校準備プログラムについては、年齢別に実施しています。1、2歳児クラスでは、一部のおもちゃは子どもたちが自由に取り出せるように配置されています。0歳児クラスでは、子どもの状態や興味等に応じて、保育士がおもちゃ等を出しています。今後は、自由に遊び込める環境づくりを更に工夫したいと園では考えています。</p> <p>法人独自の小学校準備プログラムの実施により、小学校への円滑な接続を目指しています</p> <p>小学校教育への円滑な接続については、5歳児は小学校のオープンスクールに参加して給食や行事を見学したり、授業を体験したりしています。5歳児それぞれが就学する小学校へは、要録を送ったり、面会や電話で申し送ったりして連携を図っています。学習面では、卒園時には全員が絵本の音読ができるようになることを目指して、4、5歳児は、法人オリジナルのテキストを使用してひらがなや数字を学んでいます。就学に向けた計画的な学習の積み上げにより、小学校教育への円滑な接続を図っています。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

園と保護者はアプリケーションソフトで、タイムリーに子どもの情報を共有しています

園は保護者と、アプリケーションソフトを用いて子どもに関する情報をタイムリーに共有しています。これまで使っていた連絡帳と違い、保育士は、保護者が入力した家庭での子どもの食事、睡眠、排泄等の様子を、子どもが登園する前に確認することができます。一方保護者は、園に子どもを迎えに行く前に子どもの様子を知ることができます。そのため送迎時にはその内容を基に、保育士は保護者と密にコミュニケーションを取ることができます。0歳児については、登園時に検温する際、服を脱がせて全身の観察をおこない、子どもの様子を確認しています。

家庭での方針を尊重しながら、離乳食やトイレトレーニングを進めています

0歳児の離乳食の状況については、ごはん、パン、りんご、昼の飲み物、おやつ飲み物、その他の項目毎に、子ども一人ひとりの現在の食形態が一目でわかるよう、一覧表にしてクラスに張り出されています。園は1か月から1か月半毎に、「離乳食面談シート」を用いて保護者と面談して、家庭での進捗具合を確認しながら、段階的に離乳食を進めています。排泄についても、家庭での方針を尊重しながら、必要に応じて子どもの状態に応じたアドバイスをしながら、保護者と一緒にトイレトレーニングを進めています。

子どもの状態や状況、保護者からの要望に応じて、休息の長さに配慮しています

園は、保護者からの要望にはできるだけ応じるようにしています。「夜眠れないので午睡を短くしてほしい」という要望については、子どもの活動状況や体力等も踏まえ、5歳児については要望に応じています。一方乳児については、子どもの生活リズムに配慮して、家庭において入眠しやすいような環境を整えるようアドバイスしています。通常3、4、5歳児は幼児クラスとして一緒に活動していますが、小学校への就学の近づく12月からは、5歳児は午睡はせずに、1時間程度体を休めるようにしています。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 子どもの心身の発達が促されるよう、戸外・園外活動(外気浴を含む)を実施している	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもが自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

一人ひとりの子どもの成長や気持ちに配慮しながら、自発性を促しています

法人作成の保育マニュアルの室内活動(自由遊び)の項目に「子どもたちが遊んでみたい、触ってみたいという玩具や道具類がいつも子どもの手の届くところにあり、子どもが取り出しやすいように設定する」等とあり、園では年齢に合った玩具をコーナーに配備するなどして、子どもたちが自発的に遊べるような工夫をしています。玩具等の貸し借りの仲裁や子ども同士の関わりを促す際は、低年齢児や言葉で表現する前に手が出てしまいそうな場合は、保育士が子どもの思いを代弁するなどして、それぞれの子どもの気持ちが整理できるよう援助しています。

法人独自の学習カリキュラムを通して、感性、知性、体力を育む保育をおこなっています

乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられるよう開発された法人独自の学習カリキュラムを通して、「感性、知性、体力」をバランスよく育てる保育をおこなっています。カリキュラムには、生活や季節に応じたことばなどの暗唱、音楽に合わせた身体表現、童謡・わらべ歌・手遊び歌を通した遊び、えかき歌、絵本の読み聞かせとその内容を基にした活動等、言葉にまつわるプログラムと運動プログラムがあり、子どもたちは毎週取り組んでいます。毎月のクラス別の活動をホームページで公表しているので、家庭で保護者も一緒に取り組むことができます。

積極的に戸外に出掛けて、思いっきり体を動かしたり自然に親しんだりしています

園はビルの1、2階にあり園庭はないため、悪天候の日以外は積極的に戸外に出掛けています。周囲には高層ビルが立ち並んでいますが、緑にも恵まれています。近くには自然豊かな大きな公園や動物に触れあえる公園等があり、走り回ったり、昆虫を観察したり、木の実を拾ったりもできます。園では、行き先となる公園等までの道順や、移動中の安全確保と危険物への注意事項、緊急時の対応等について、画像を用いて分かりやすい散歩マップを作成しています。各クラスでは目的に応じて行き先を選び、安全に戸外活動ができるよう工夫しています。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもが興味や関心を示したものを発展させた行事になるよう努めています</p> <p>親子遠足、七夕集会、夏祭り、運動会、芋ほり、クリスマス会、お正月会、節分集会、ひな祭り集会、加えて5歳児のお泊り保育等の行事を実施しています。行事の準備段階では、日常の保育の中で自然と興味を持つよう促したり、子どもが興味や関心を示したことを発展させたりするような工夫をしています。一方、運動会等の行事では、保育士が先に目標を設定してしまう傾向がありますので、今後は、日常の保育の中で取り組んでいる跳び箱や鉄棒等の成果を発表する場にして、子どもたちが達成感を味わえるような行事にしたい、と園長は考えています。</p> <p>野菜作りやみこし作り等を通して、みんなで協力してやり遂げる楽しさを味わっています</p> <p>年間を通した菜園計画に基づき、幼児はベランダのプランターで野菜を育てています。自分たちが植えた野菜が日に日に育っていく様子を、子どもたちは興味深く観察し、みんなと一緒に育てる喜びを味わっています。夏祭りでは、みんなで協力しておみこしを作ったり、いろいろなお手伝いを経験したりして、友達と力を合わせて何かをする楽しさを味わいました。壁面制作においては、さまざまな技法を用いて友達同士協力して作り上げる楽しみを経験しました。プランターでは野菜の他に、卒園式で年長児に渡せるよう、4歳児がチューリップを育てています。</p> <p>アンケート結果を保護者間でも共有し、意見や提案事項はできるだけ活かしています</p> <p>進級した子どもの保護者へは年度の初めに、途中入園の保護者には説明会の際に、保護者に参加を求める行事について説明することで、保護者の理解や協力を得られるようにしています。保護者の行事への出席率は高く、実施後に毎回取るアンケートの回収率はほぼ100%です。結果は園内に掲示して共有しています。改善が必要な事項については、運営委員会で検討しています。これまでにアンケート結果を反映させた例としては、小中学校の登校日と重ならないように行事の日程を移動させたり、発表会の観覧の態勢を変更したり、等があります。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>延長時間も年間を通して同じ保育士が対応することで、安定した園生活が送れます</p> <p>ほとんどの子どもの保育時間は8:00から18:00の基本時間内で、朝と夕の延長保育の利用者は少ないです。保育士の勤務は、年間を通して固定したシフト制を採用しており、延長保育の時間は、毎日同じ保育士が子どもの保育を受け持つため、子どもにとって安定して過ごせる環境になっています。延長保育の時間の担当保育士と共有する必要がある事項がある場合は、口頭での伝達に加えて、引継ぎ表に記入しています。延長保育の時間は、ゆったりと過ごせるような活動をおこなったり、少人数ならではの玩具や遊びをおこなう等の工夫をしています。</p> <p>延長保育の時間は、異年齢で楽しく遊びながら過ごしています</p> <p>年間指導計画の中に「長時間にわたる保育」の項目があり、例えば「一日の疲れを癒しながら、保護者を待つ気持ちを受け止め、子どもに個別にかかわれるよう配慮する」等と計画されています。一方、保護者が迎えに来てなかなか帰りがたがらない様子を見せる子どももいて、園も保護者も困ってしまうことがあります。今後園としては、保護者が迎えに来る時間を見込んで、遊び始めるタイミングや遊びを切り上げる方法等についても、考えていく必要があると感じています。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>食物アレルギーのある子どもへは、除去食と家庭からの持ち込み食で対応しています</p> <p>園としては、家庭で保護者が子どもと向き合える時間をできるだけ確保してほしいとの考えから、1日1回は家庭と一緒に食事をとることを勧めています。一方で、保護者のさまざまな事情を勘案して、19:00を過ぎる保育では夕食を、18:30を過ぎる保育では夕軽食を提供しています。おやつや昼食については、子どもが楽しく落ち着いて食事をとれるよう、友達同士顔が見えるように席を配置しています。食物アレルギーの子どもについては、除去食対応をしています。月毎の食材表を保護者に配付し、前日には「持ち込み食」の確認をおこなっています。</p> <p>物語メニューと郷土料理、野菜の栽培・調理等により、食に関する関心を高めています</p> <p>法人の栄養士が作成したメニューを園で調理しています。毎月1回、絵本に出てくる料理や絵本の世界と連動した「物語メニュー」と、「郷土料理」の日を設け、子どもたちが食に興味を持ち、食事を楽しめるよう工夫しています。年間を通した菜園計画に基づき、幼児はベランダのプランターで野菜を育てています。自分たちで育てた野菜を自分たちで調理することで、苦手な野菜を食べるきっかけにもなっています。ホームページでは人気の献立ランキングを発表すると共に、家庭でも取り入れられる調理や味付けのちょっとした工夫についても掲載しています。</p> <p>子どもの興味関心をそそるような食育指導計画をクラス毎に立てて、実践しています</p> <p>離乳食については、家庭での方針を尊重しながら、園で段階的に進めていくために、1か月から1か月半毎に園長、担任、調理員(栄養士)が保護者と面談して、食材毎に家庭での進み具合を確認しながら、慎重に進めています。調理員(栄養士)を中心に、クラス毎に食育指導計画を立てて、食に関する知識や関心を高めるような取り組みを実践しています。例えば秋には、「柿博士」からの挑戦状に応える形で、2歳児が数種類の柿を食べ比べました。季節の果物を味わうだけでなく、食べ物への興味関心をそそるような工夫も心掛けています。</p>			
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの入退所により環境に変化がある場合には、入所している子どもの不安やストレスが軽減されるよう配慮している		○非該当

評価項目7の講評

年2回嘱託医による健康診断を実施すると共に、全職員が救命救急研修を受けています

子どもが自分の健康や安全に関心を持てるように、例えば、手に付いたばい菌が体に入ると病気になることがあることを、絵本や紙芝居などを使って伝え、手洗いやうがいので防げることを教えています。けがの予防については、準備運動の大切さを伝えていきます。もし、けがをしてしまったときは、ノートですべての保育士に周知しています。年2回、嘱託医による健康診断を実施して、子ども一人ひとりの健康状態を確認しています。救命救急の研修は、調理員(栄養士)も含めて全職員が受けていて、いざという時に慌てずにすむような態勢を取っています。

保護者との密な連携により、その日の健康状態を把握して保育をおこなっています

食事が終わると子どもたちは自ら歯磨きをし、保育士が仕上げています。子どものその日の健康状態については、保護者からの連絡、および登園時の検温や観察により確認し、食事や排便については、園と家庭での様子を互いに共有しています。乳幼児突然死症候群の予防として午睡チェックリストを用いて、0歳児は5分おきに、1歳半までは10分おきに呼吸と寝姿勢を記録しています。毎年できるだけ1人以上の保育士がクラス担任を持ち上がり、進級した子どもたちを中心に関わることで、子どもたちの不安やストレスが軽減されるよう配慮しています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

各家庭の事情に応じて、延長保育や土曜保育の利用に柔軟に応じています

保護者の保育ニーズに応えることが園の使命であると考えていて、延長保育の利用に関しても、18:00までに保護者から連絡が入らなかつた場合でも、柔軟に対応して受け入れています。臨時で土曜保育を希望する場合は、利用日の2日前までの申し込みで利用することができ、前日の17:00までであればキャンセルや変更も可能です。区が提携している病児保育室のお迎えサービスも導入しており、保護者が事前に登録しておけば、保育中に子どもの体調が優れなくなった場合、園まで迎えに来て病児保育をしてもらえるサービスの利用も可能です。

保護者も楽しめる行事を通して、保護者と職員、保護者同士が交流しています

保護者同士が交流できる機会としては、5月の親子遠足、7月の夏祭り、10月の運動会、1月の懇談会、2月の発表会、3月の進級説明会があります。いずれも多くの保護者が参加し、交流しています。園では、保護者参加の行事は子ども同様、保護者にも楽しんでもらい、共通の体験を通して、子どもと保護者の絆を強めたり、保護者と職員の信頼関係の強化をねらいの一つとしています。実際、保護者同士も仲良くなり、親子そろって遊園地に出掛ける等、家族ぐるみの交流も深まっています。

懇談会、個人面談、保育参観等を通して、保護者の意向を保育や園運営に反映しています

園はいつでも保育参観を受け付けていますが、法人独自のカリキュラムで毎週実施されている学習タイムがおこなわれる日に、年2回、保育参観の機会を設けています。保育参観にはほぼ全員の父母のみならず、祖父母の参観もあり、関心の高さが伺えます。保護者会はありませんが、懇談会で募った保護者代表が、年2回、園長、法人の本部社員、有識者と共に運営委員会に出席することで、園の運営に保護者の意向を反映させています。子どもの発達や育児等については、懇談会や個人面談で保護者と共通の認識が得られるよう、取り組んでいます。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>企業が擁する文化施設等を活用して、多様な体験ができるような機会を確保しています</p> <p>初台駅から近い園の周辺は、さまざまな企業が集中する地域です。ごく近隣にはコンサートホールや劇場を擁する高層ビルがあります。企業が持つ図書館や博物館等もあり、住宅街とは違った地域資源が数多くあります。ビルの中庭を散歩したり、企業が運営する文化施設で電子機器を使う体験をしたり、バレエや音楽会に招かれたりもします。緑深い神社や公園、児童館、企業の公開空地等も近くにあり、子どもたちの戶外活動の場となっています。一方、地域の方々との交流は難しいですが、年長児は、法人内の他の保育園の子どもと遠足や宿泊で交流しています。</p> <p>地域の子どもたちや近隣の商店街等との交流の場を、作っていきたい意向があります</p> <p>安全面等を考慮して、散歩先で出会った近隣の保育園の子どもたちと交流することはありませんが、互いにあいさつは交わしています。園の行事等については、園の入っているビルの入口にポスター等を掲示して案内していますが、近隣からの参加者はありません。正月会には、けん玉名人を園に招待し、子どもたちとの交流を計画しています。昨年は、区が主催して近隣の保育園の年長児と交流する機会がありました。園としては今後、地域の子どもたちや近隣の商店街等、より多くの地域交流の場が持てるようにしていきたい意向があります。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル①	労働時間の短縮や休日の確保を進めるなどの処遇改善を進めています	
内容①	園では、有給休暇の完全取得をめざして更なる工夫を進めていくことを検討しています。今まで、フリーの保育士を入れて有給消化を進めたり、仕事内容をカスタマイズして業務を簡略にして残業を減らすなどの工夫をしてきました。また、昨年から情報システムを導入して書類作成などの業務を合理化しました。正社員と派遣社員、年齢の上下などを取り払って気軽に意見を出し合う関係づくりを進めるなどもしています。今後、有給休暇の取得率の向上や処遇改善にむけて一層の業務の見直しやフリー保育士の増員などの組織改革も検討しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-1	定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している
タイトル②	認証保育園としての特徴を生かし、保護者のニーズに柔軟に対応しています	
内容②	園は認証保育園ならではの特徴を明確にし、保護者のニーズに柔軟に応え、保護者の子育て支援のための施設としての役割を果たしています。仕事をしていない日であっても保護者に預ける必要があれば受け入れる、急な延長保育も保護者の要望に積極的に応じるなど、保護者の意向に沿っています。カリキュラムは系列の認可保育園と同じ内容を導入し、保護者が安心できるようにしています。園は、日々の保護者との会話や個人面談などで一人ひとりの保護者のニーズを把握し、離乳食の進め具合などを個々に応じて丁寧に対応し、保護者の意向に応じています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	企業が擁する文化施設等を活用して、多様な体験ができるような機会を確保しています	
内容③	初台駅から近い園の周辺は、さまざまな企業が集中する地域です。ごく近隣にはコンサートホールや劇場を擁する高層ビルがあります。企業が持つ図書館や博物館等もあり、住宅街とは違った地域資源が数多くあります。ビルの中庭を散歩したり、企業が運営する文化施設で電子機器を使う体験をしたり、パレエや音楽会に招かれたりもします。緑深い神社や公園、児童館、企業の公開空地等も近くにあり、子どもたちの戸外活動の場となっています。一方、地域の方々との交流は難しいですが、年長児は、法人内の他の保育園の子どもと遠足や宿泊で交流しています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもがさまざまな食材や食べることに関心が持てるよう、年齢に応じた食育活動を積極的に行っています
	内容	毎月1回、絵本に出てくる料理や絵本の世界と連動した「物語メニュー」と、「郷土料理」の日を設け、子どもたちが食に興味を持ち、食事を楽しめるよう工夫しています。年間を通した菜園計画に基づき、幼児はベランダのプランターで野菜を育て、自分たちで調理して食べることで、苦手な野菜を食べるきっかけにもなっています。ホームページでは人気の献立ランキングを発表すると共に、家庭でも取り入れられる調理や味付けのちょっとした工夫についても掲載しています。12月からは、献立表に食育情報も盛り込んだ食育カレンダーの作成を始めています。
2	タイトル	法人独自の学習カリキュラムを通して、感性、知性、体力を育む保育をおこなっています
	内容	乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられるよう開発された法人独自の学習カリキュラムを通して、「感性、知性、体力」をバランスよく育てる保育をおこなっています。カリキュラムには、言葉にまつわるプログラムと運動プログラムがあり、子どもたちは毎週取り組んでいます。ホームページで毎月のクラス別の活動が公表されているので、家庭で保護者も一緒に取り組むことができます。その他に週1回、リズム遊びを0歳児から取り入れることで、さまざまに体を動かす楽しみを覚えて、戸外活動がより活力のあるものにしようと取り組んでいます。
3	タイトル	情報システムを積極的に推進し、効率化を図った結果、保護者や保育士相互のコミュニケーションが深まっています
	内容	園は、情報システムによる効率化を積極的に進めています。今年度からは、アプリケーションソフトを導入し、指導計画や日誌、生活チェック(食事、排泄、午睡等)、保護者との連絡などをICT化しました。今まで記録に要していた時間は、製作やクラスの振り返りにあてています。「振り返りタイム」で、その日の保育の振り返りを行うことで、職員間のコミュニケーションが深まり、保育の方向性が統一され、子どもが落ち着いてきたなどの効果が出ています。また、保護者が連絡を事前に見ることで、送迎時の保護者との会話がより深まっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園の目指す子どもを主体とした保育の実現に向けての取り組みを、さらに進めていくことが期待されます
	内容	園は、子ども主体の保育の実現に向けて、指導計画に年齢や発達に応じた主体的に取り組める活動を取り入れたり、保育室の環境整備をするなどしています。保育士は子どもの意向を確認し、保育に取り入れるようにしていますが、行事の決め方などは保育士が主導することが多く、課題ととらえています。環境整備をさらに進めるとともに、行事の出し物を決める時に、複数の候補の中から子どもが話し合っ選んだり、子どもと相談して劇の内容を決めていくなど、さらなる工夫をし、園の目指す子ども主体の保育を実現していくことが期待されます。
2	タイトル	地域に向けた園の発信力の再検討と強化が望まれます
	内容	近くで保育園が次々と開設しており、競争が厳しさを増しています。すでに他区からの見学申し込みが減少するなどの影響が出ています。現在、園独自のパンフレットの作成を検討していますが、園の独自カリキュラムや独自の柔軟なサービスについて、それらを明確に示すことが求められます。認可保育園などでは満たすことが難しいサービスでも、園ならばではできることを明確にすることで、新たなニーズの掘り起こしも期待できます。ホームページや案内のしおりなど他の広報媒体についても検討が望まれます。
3	タイトル	職員も参加する仕組みを作り、より具体的な目標を掲げた事業計画書を策定することが期待されます
	内容	事業計画書の目的の一つは、課題と目標を明確にしてそれを達成するための職員との協力関係を作ることにあると言われています。園では職員一人ひとりとのコミュニケーションを大切に、好奇心や意欲を尊重した運営を心がけてきていますが、例えば、園長と法人担当者に加えて、ベテランの職員なども事業計画づくりに参画してもらうことにより、計画書にある目標や課題もより具体的なものを設定出来たり、身近に感じられると思われれます。また、やりがいや成長につながることも期待されます。

福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : www.yresearch-center.jp/ E-mail : top@yresearch-center.jp



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02
